

新まち通信

～明日のために～

富士見高校生が地域を元気にするぞ！

「さる・柿合戦プロジェクト」第2回・3回を開催しました。

富士見高校園芸科の生徒と下蔦木集落住民が協働して有害鳥獣対策に取り組む「さる・柿合戦プロジェクト」第2回が10月4日(火)に開催されました。

この集落では、昔から柿もぎに青竹で作った竹竿を使っているそうで、指導を引き受けてくださった地元の進藤さんから昨年作ったという竿を見せていただいた後、目の前で竿づくりを実演していただきました。



生徒達はひととおり説明を受けたあとあらかじめ地元の方が用意してくださった竹を使い、鋸とカッターで先端を二股に割る作業に入りました。始めてみると、大人たちの心配をよそに器用な手つきで作業はみるみる進み、1時間もしないうちに柿もぎ用竹竿は完成しました。

完成後、生徒達は自作の竿を使って、柿の枝を要領よく折る練習も行ないました。その楽しそうな笑顔といったら、第1回目の会議で見せた緊張顔とは明らかに違ってまぶしく輝いていました。

第3回は10月12日(水)に開催され、柿もぎや販売・干し柿づくりの日程などを決めました。柿もぎは10月25日(火)と27日(木)の2回行ない、10月30日(日)は干し柿用「甲州丸」として道の駅「信州蔦木宿」で直売。11月1日(火)は下蔦木集落の皆さんのご指導をいただき、いよいよ信州蔦木宿の特産品化を目指して「干し柿づくり」に挑戦します。この広報が皆様のお手元に届く頃、下蔦木集落の家々の軒先に黄色く実った干し柿のカーテンが見られたら最高ですね。

詳しくは、新まち通信 <http://www.town.fujimi.nagano.jp> をご覧ください！

また、このコーナーに関する“ご意見ご感想”をお寄せください。

【お問い合わせ】総務課新しいまちづくり係

☎62-9328 (有)9328 e-mail: shinmachi@town.fujimi.nagano.jp



新しい西伊豆町と姉妹町締結

西伊豆町とは、昭和50年に姉妹町締結をして以来30年、文化・スポーツ・地場産品などを通して、広く交流してきました。

今年4月、西伊豆町が賀茂村と合併し、新生西伊豆町としてスタートしたことから、10月5日に改めて姉妹町の締結を行いました。

高原の風に吹かれて

今年の富士見パノラマリゾート、テーマは「上手くなる秘密」

昨シーズン、パノラマは顧客満足度1位をめざして様々な改革に取り組みました。お客様に喜ばれるスキー場にリニューアルしています。売上げは各地のスキー場が苦戦する中、プラスを確保したことは大きな自信になりました。中でもスノーモブの存在はパノラマの大きな特徴でした。

モブとはワンポイントレッスンを無料で実施、困っているお客さんをサポートする事などが役目の人です。転んでいる子どもたちの起きるお手伝いやゲレンデガイド、技術的なよるず相談など、大勢のボランティアの皆さんの協力で運営しています。安心してゲレンデで楽しめることを基本に、今年はさらにレベルアップし、大きな柱にしていきます。初心者、再度スキーを始めた中高年層などにはきっと喜んでいただけたと思います。

もう一つの柱はレストランのメニューです。今ブームとなっている地元特産品「寒天」を使ったメニューの開発をしています。ヘルシーで健康、さらに味もグレードアップ！昨年より掲げている「脱レトルト宣言」も継続し、手作りのカレーやパノラマ農園で採れた野菜も加え、安心メニューを提供していきます。野沢菜もパノラマ農園産、これから漬け込みます。

帰りの車の中で「来てよかった」「楽しかった」そして「また来ようね」と会話の弾むスキー場を目指します。

【富士見パノラマリゾート】 ☎62-5666